



TITLE:

表紙ほか

AUTHOR(S):

---

CITATION:

表紙ほか. 地球 1934, 21(1)

ISSUE DATE:

1934-01-01

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/184250>

RIGHT:

# 地球

昭和九年

一月  
六月

第貳拾壹卷

地球 第貳拾壹卷 總目錄 昭和九年一月——六月 (アラビヤ數字は號數を示す)

圖 版

第一版	北上山脈入谷の擦痕礫	.....	(第一號)
第二版	琵琶湖東南岸地方地質圖	.....	(第二號)
第三版	四國劍山四近地質圖	.....	(第三號)
第四版	口永良部島の破裂	.....	(第四號)
第五版	長野縣樽ノ澤産蛙化石	.....	(第五號)
第六版	卑南大溪附近地形模型	.....	(第六號)
	中央及び東北日本の氷成堆積物分布に就いて二	.....	小川 琢治
	北上山脈入谷附近の Probable glacial deposits に就いて	.....	八木 次男
	湖底堆積物の酸素吸收	.....	宮地傳三郎
	加賀粟津溫泉附近の地質と溫泉試錐	.....	近藤 堅二
	稻垣子戩の譯した坤輿全圖說に就て	.....	鮎澤信太郎
	三陸海嘯罹災地方に於ける聚落の移轉	.....	米倉 二郎

綜合的地理的地域決定法 (上) (下)

世界戦後の地名考

三二一〇九

琵琶湖東南岸の地質

濱名湖畔伊佐見村の洪積世化石に就て

巨椋池の湖岸變遷と干拓事業

三二一

伊勢に於ける輪中地域の地誌

二一

氷河礫と擬氷河礫

二一

四國劍山附近の地質

高松隕鐵に就て

東京市豊島區目白町に於ける鑿井の結果に就いて

臺灣北東部に於ける新期火山の觀察

昭和八年十二月乃至  
昭和九年一月

の口永良部島新丘の火山活動

宮崎縣佐土原町仲間原の海成洪積層

2. 1 小牧 實繁

6.5.4.3.2.1 瀧川 規一

2 廣瀬 正資

2 大炊御門經輝

4. 3. 2 吉田 敬市

3. 2 辻井浩太郎

4. 3 高橋 純一

3 大木 謙一

3 松山 基範

3 大炊御門經輝

3 船越 素一

4 本間不二男

4 竹山 俊雄

京都府相樂郡笠置村産電氣石に就いて	4	鵜川平八郎	二七
風土記の解説	4	藤田元春	三四
廬山の眞面目(上)	5	小川琢治	三三
長野縣南佐久郡樽ノ澤産蛙化石	5	榎山次郎 君塚康次郎	三五
紀伊半島東南部の含炭第三系宮井統の地質時代に就いて	5	鈴木好一	三九
武藏野臺地の村落	5	櫻井靜	三四
豊後滿弘寺市の事	5	近藤忠	三五
水田に於ける裏作の畦畝型式と其の地理學的意義	5	服部完二	三九
遠江二俣町附近第三紀層及び地質構造概観	6	榎山次郎	三九
山城國相樂郡中和東村柚田に於ける電氣石の産狀	6	上治寅次郎	四三
臺灣東海岸山脈附近の地形に就いて	6	船越素一	四六
考現地理學三四の研究	6	森重夫	四〇
朝鮮黃海道黃州郡天柱面の黃鐵鑛後の褐鐵鑛	6	鵜川平八郎	四五
備後の名勝下帝釋峽(一)	6	吉野益見	四五
酪農工業	6	白尾榮	四四

# 新著紹介

地震	1	先
地政治學入門	1	先
皇陵圖誌	1	先
力學史傳	2	一毛
地理學論叢第二輯	2	一毛
大塚地理學會論文集第二輯(上)	2	一毛
地球物理學	2	一毛
岩石鑑定實驗書	3	二三
日本鳥瞰圖(第五輯)	3	二三
地震	3	二三
地質學便覽	3	二三
周防國府の研究	3	二三
江戸時代の科學	3	二三
長安史蹟の研究	3	二三
郷土研究圖譜村落篇第二輯栃木縣	4	三五
埼玉縣地誌	4	三五
石油地質學通論	4	三六
漁村民俗志	4	三六
朝鮮	4	三七
大塚地理學會論文集第二輯(下)	5	三九
テルル金銀鑛の研究	5	三九

## 雜報

地質鑛物學概論	5	三九
慶州郡	5	三九
長野縣下伊那聚落密度圖	5	三九
地理論叢第三輯	6	四〇
文化地理學の諸問題	6	四〇
日本綿布の埃及市場進出	1	先
日本ビールの進出	1	先
獨逸の麥酒釀造業	1	八〇
華僑の現狀	1	八一
ルキジアナ州天然瓦斯	1	八一
英國の石炭液化工業	1	八二
滿洲黑山縣の棉花	2	一五
日本綠茶と外人の嗜好	2	一五
支那人の比島に於ける營業振	2	一六
サンデバルと日本	2	一六
獨逸アルミニウム工業	2	一六
文檢地理科本試驗問題	2	一六
口之永良部島破裂の模様	2	一六
獨逸の加里及食鹽生産	3	一七
敦圖線	3	一八
支那農村の疲弊	3	一八

米國に於ける燐寸	3	二〇〇
日本工藥品と紐育市場	3	二〇〇
北滿洲の毛皮	3	二〇〇
第廿一卷二號下段二行目正誤	4	二〇二
陸地測量部出版地圖目錄 <small>(昭和九年二月二十八日出版)</small>	4	二〇六
印度の大地震	4	二〇七
高級林業の提唱	4	二〇七
樺太の森林	4	二〇八
咸北の三港	4	二〇九
メキシコの咀嚼用ゴム	4	二一〇
英國經濟聯盟の本邦商品展示	5	二一四
全南海南郡玉埋山の明礬	5	二一五
日本と白耳義の綿業	5	二一五
葡領チモール島	5	二一七
南京綬子	5	二一七
滿洲國に於ける日本使館	5	二一八
米國の石油産額	5	二一八
富山地學會第一回特別例會	6	二二三
高知縣佐古村龍ヶ鍾乳洞	6	二二三
重慶へ溯航する汽船	6	二二四
白耳義領コンゴの現状	6	二二四
日本の經濟的發展	6	二二六
日英間の競争	6	二二七

ルーマニア國の石油..... 6 ..... 二〇八

## 質疑應答

滿洲國有鐵道..... 3 ..... 二二三

# 地球

第 一 號      第 二 十 一 卷

昭和九年一月一日發行

## 主要目次

圖版 第一版 北上山脈入谷の擦痕礫

中央及び東北日本の氷成堆積物分布に就いて

理學博士 小川琢治

北上山脈入谷附近の Probable glacial deposits

に就いて 理學士 八木次男

湖底堆積物の酸素吸收 理學博士 宮地傳三郎

加賀粟津溫泉附近の地質と溫泉試錐

理學士 渡藤堅二

稻垣子戩の譯した坤輿全圖に就て 文學士 鮎澤信太郎

三陸海嘯罹災地方に於ける聚落の移轉

文學士 米倉二郎

綜合的地理的地域決定法 (上) 文學士 小牧實繁

世界戰後の地名考 (九) 文學士 瀧川規一

新著紹介

雜誌

第二十卷總目錄

京 都 帝 國 大 學 內

地 球 學 園



# 地球第二十一卷第一號（昭和九年一月）

## 目次

圖版 第一版 北上山脈入谷の擦痕礫

中央及び東北日本の氷成堆積物分布に就いて

北上山脈入谷附近の Probable glacial deposits に就いて

湖底堆積物の酸素吸収

加賀粟津温泉附近の地質と温泉試錐

稻垣子戩の譯した坤輿全圖に就て

三陸海嘯罹災地方に於ける聚落の移轉

綜合的地理的地域決定法（上）

世界戦後の地名考（九）

## 新著紹介

○地

震

○地政治學入門

○皇陵圖誌

## 雜報

○日本綿布の埃及市場進出  
○日本ビールの進出

○獨逸の麥酒釀造業  
○華僑の現狀  
○ルキジアナ州天然瓦斯  
○英國の石炭液化工業

理學博士	小川琢治	一
理學士	八木次男	五
理學博士	宮地傳三郎	六
理學士	近藤堅二	六
文學士	鮎澤信太郎	五
文學士	米倉二郎	五
文學士	小牧實繁	三
文學士	瀧川規一	七

## 第二十卷總目錄

# 地球學團規約

- 第一條 本團を地球學團といふ。
- 第二條 本學團は地球に關する學術的研究を進め兼て同好の士の親睦をはかるを目的とする。
- 第三條 事務所を京都市白川通分町京都帝國大學地質學教室内に置く。
- 第四條 本學團の事業は次の如くである。
- 第五條 實地並に講習會の開催
- 第六條 本學團員は地球購讀費として一年分六圓又は半年分三圓を發行所へ前納すること。
- 第七條 本學團員になりたい人は、住所職業氏名を申込み、同時に地球購讀費半年分以上を發行所へ送金する事。
- 第七條 學團を脱退しやうとする者は、其の旨を學團に通知すること。

## 註文規定

- 講讀者の御註文及び廣告に關する件は博多成象堂へ御申込下さる候。
- 本誌の御註文代金郵税共すべて前金にて御送り下さる候。
- 振替代用にての御註文は、割増に願上候。
- 振替貯金にての御送金は、(振替大阪七釜參參番、東京五貳六〇七番)博多成象堂に願上候。
- 前金切れの場合に、前金切しの印章押捺致すべくに付直に御拂込下さる候。
- 特に請求書及領收書等を要する場合は郵參參錢御送付下さる候。

## 定價

一冊	定價金五十錢	郵税金壹錢
六冊(前金)	定價金參圓	郵税不申受
十二冊(前金)	定價金六圓	郵税不申受

特大號定價の差額は別に申受候

## 廣告料

一頁 金五十圓

昭和八年十二月廿五日印刷納本(第二十一號) 定價金五拾錢  
昭和九年一月一日發

複製許不  
載轉禁

## 發行所

博多成象堂

大阪市南區大寶寺町西之丁貳拾貳番地

電話特南壹壹七七番

## 發賣所

博多成象堂

東京市神田區錦町三丁目拾貳番地  
大阪市南區大寶寺町西之丁貳拾貳番地

## 所 捌 賣

(東京) 東隆堂 東海堂 大東館  
(大阪) 盛文館 參文社  
(神戸) 寶文館 川瀨日進堂  
(京都) 共盛社 大盛社  
(名古屋) マガジン 川瀨書店 星野書店

# CHIKYŪ THE GLOBE

---

Vol. XXI. No. 1.

January, 1934.

---

Plate I. Glacial striated Gravels at Iriya in the  
Kitakami Range.

Distribution of Glacial Deposits in Central and northeast Japan. (1)	
By T. Ogawa, <i>R. H.</i> .....	1
On the probable Glacial Deposits at Iriya in the Kitakami Range.	
By T. Yagi, <i>R. S.</i> .....	5
Oxygen Absorption of the Lake Deposit.	
By D. Miyadi, <i>R. H.</i> .....	18
Drill-boring for Hot Springs and Geology of the Awazu Spa, Kaga.	
By K. Kondo, <i>R. S.</i> .....	28
World Map made by Inagaki.	
By S. Aizawa, <i>B. S.</i> .....	52
Shifting of Villages in the Sanriku <i>Tsunami</i> Districts.	
By J. Yonekura, <i>B. S.</i> .....	56
Unstead's A synthetic Method of determining Geographical Regions.	
Translated and Abridged by S. Komaki, <i>B. S.</i> .....	62
Place-Names after the World-War. (9)	
By K. Takigawa, <i>B. S.</i> .....	72

---

New Eccks—Geographical Notes—Inquiries.  
Index to the Volume XX.

---

**Chikyū Gakudan**

Kyūto Imperial University